

令和6年度弘前商工会議所経営発達支援計画事業評価委員会議事録

1. 日 時 令和7年2月27日（木）午後1時30分から午後3時00分まで

2. 場 所 弘前商工会議所会館6階特別会議室

3. 出席者【委員】

土岐 俊二 弘前商工会議所 専務理事

富士 智広 弘前市商工部商工労政課 課長

太田 尚亨 弘前市商工部産業育成課 課長

古屋 洋樹 日本政策金融公庫弘前支店 支店長

※当日急遽代理で山崎雄課長が出席

中村 匡洋 青森県信用保証協会弘前支所 支所長

佐藤 雅信 青森県中小企業団体中央会弘前支所 所長

山田 貴弘 山田貴弘中小企業診断士事務所 代表

栗村 圭一 K-Oneコンサルティング 代表

【事務局】

木下 克也 弘前商工会議所 事務局次長

山本 肇 弘前商工会議所中小企業相談所 所長

齊藤 耕成 " " 次長

三上 浩平 " " 経営二課 課長

4. 事業評価

事務局より事業実施状況報告後、委員8名より評価をいただいた。下記の表は、該当する評価を何人行ったかの人数を記載している。

事業項目	評価			
	A	B	C	D
1. 地域の経済動向調査に関すること	8			
2. 経営状況の分析に関すること	4	4		
3. 事業計画策定支援に関すること	8			
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	8			
5. 需要動向調査に関すること	4	4		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業	4	4		
7. 他の支援機関との連携を通じた支援	8			
8. ノウハウ等の情報交換	8			

評価基準は、以下のとおり。

A：十分達成 B：概ね達成 C：どちらかというと達成していない D：未達成

5. 内 容

午後1時30分定刻開会。

令和6年度事業報告について事務局より資料に基づき令和6年度の実施事業について説明。日々の支援業務、展示会出展事業の成果について報告。各委員の主な意見や助言は次のとおり。

1. 地域の経済動向調査に関すること			
①管内の景況動向調査 ②地域診断サービスによる調査			
【評 価】			
A	B	C	D
8			
【意見・コメント】			
・良好に実施されている。 ・着実に取組まれている。 ・事業者支援に向け有効なデータ取得であり継続的な取組が重要である。 ・調査、分析を四半期毎に行っており情報提供もしていると評価できる。			

2. 経営状況の分析に関すること			
①経営分析を行う事業者の掘り起こし ②経営分析の実施と内容			
【評 価】			
A	B	C	D
4	4		
【意見・コメント】			
・BIZ ミル等ツール活用が良く行われている。 ・セミナーの集客は難しいことも認識しているが、情報発信する意味からも取組を続けていただきたい。 ・経営分析から把握された経営課題の解決に向け、事業計画策定支援・補助金等の情報提供・金融支援と一気通貫の支援メニューが確立されており、評価できる事業内容である。 ・セミナーの集客は難しいことも認識しているが、情報発信する意味からも取組を続けてほしい。 ・経営分析セミナー参加人数が未達となっているが特に問題はない。 ・マル経の推薦による経営分析数の増加を期待する。 ・セミナーの参加者を増やすのは大変だと思うが、ニーズはあるとのことでしたので、しっかりと周知するなどしてほしい。			

3. 事業計画策定支援に関すること			
①「事業計画策定セミナー」の開催 ②「DX 推進セミナー」の開催及び「みらデジ」を活用したデジタル化状況や経営課題の把握 ③創業計画、事業承継計画など様々な事業計画策定支援の実施			
【評 価】			
A	B	C	D
8			

【意見・コメント】
・より具体性の有る計画策定支援が行われている。 ・販路拡大に対するニーズは小規模事業者に関してはとても大きいため商工会議所独自でのイベントがあるのは良い。 ・いずれも目標を達成しており、特に DX 関連のセミナーは、参加者も多く、ニーズに合った支援となっている。 ・DX 推進セミナーの参加人数が多く、Dx に対する事業者の関心の高さをうかがわせている。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること			
①事業計画策定支援後のフォローアップ ②創業計画・事業承継計画策定後のフォローアップ			
【評 価】			
A	B	C	D
8			
【意見・コメント】			
・売上増加等成果に繋がる取組であり引き続き連携いただきたい。 ・商工会議所らしいフォローアップが出来ており、利益率向上につながった。 ・フォローアップが着実に行われている。 ・計画策定後のフォローアップもしっかりと行われており、関係機関との連携も図られている。 ・フォローアップをしっかりと行っており、売上増加につながっていると思われる。			

5. 需要動向調査に関すること			
①店頭での需要動向調査 ②「津軽の食と産業まつり」での消費者ニーズアンケート調査			
【評 価】			
A	B	C	D
4	4		
【意見・コメント】			
・ アンケート設計や集計等、より多くの企業で活用いただきたい。 ・ アンケート調査は手間もかかり、大変であるが取組に期待。 ・ 良い取組であるためもっと多くの事業者を活用していただくように実施してほしい。			

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業
①東京ギフトショー出展事業 (B to B) ②地元コミュニティ FM との繋がりを活かした販路開拓 (B to C) ③会議所連携を活かした販路開拓 (B to C) ④DX に取り組む事業者支援 (B to C 及び B to B)

【評 価】			
A	B	C	D
4	4		
【意見・コメント】			
・より効果的な展示会への出店を検討していただきたい。 ・引き続き DX 支援に力を入れて売上増加に繋げてほしい。 ・多角的視野に基づき実施されており評価出来る。 ・積極的に取組む事業者にチャンスを与えてほしい。 ・地元コミュニティ FM との繋がりを活かした事業に期待する。 ・道南は青森県との距離が近いめはこだてグルメサーカスへの参加は継続してほしい。 ・一部予定していた販路開拓に向けた事業が実施されなかったが、イベントや見本市に出展した事業者は成果が見られることから、今後の更なる取組に期待したい。 ・良い取組であるためもっと多くの事業者に活用していただくように実施してほしい。			

7. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換			
①事業評価委員会 ②情報交換会 ③小規模事業経営改善資金推薦団体連絡協議会			
【評 価】			
A	B	C	D
8			
【意見・コメント】			
・良好に実施されている。 ・継続的な取組が重要である。 ・関係機関との連携が図られている。引き続き支援に向けた情報交換をお願いしたい。 ・各支援機関としっかり情報交換がなされている。			

8. 経営指導員等職員の資質向上に関すること			
①第 11 回商工会議所経営指導員全国研修会（特定商工会議所中小企業相談所直面問題会議） ②TOAS の経営支援機能活用に向けた研修会 ③商圈レポート MieNa（ミーナ）ご活用セミナー【実践編】（オンライン）			
【評 価】			
A	B	C	D
8			
【意見・コメント】			
・良好に実施されている。 ・積極的に参加して、資質向上に取り組んでいる。			

その他事業全体に関して各委員から出た意見は以下のとおり。

【福士委員（弘前市商工労政課）】

セミナー開催後のアンケートを取ることで、参加人数が少ない場合でも実施した意義があるかどうかの参考にはなるため来年度以降検討してほしい。

【太田委員（弘前市産業育成課）】

需要動向調査として、市と会議所で開催している津軽の食とまつりは人手も多く有効であるためより積極的に活用していただき生の声だけではなくアンケートの実施をしてほしい。

【古屋委員（日本政策金融公庫）※当日急遽代理で山崎雄課長出席】

ギフトショーは大手のバイヤーとの取引のきっかけづくりとなるため、今後は出展事業者数を増やしてほしい。

【中村委員（青森県信用保証協会）】

セミナーの集客は連携して人員の集客できる可能性があるため今後連携していきたい。函館グルメサーカスは近隣への新規販路開拓として有効であるため来年度も実施してほしい。

【佐藤委員（団体中央会）】

経営発達支援計画の目標は、日々の経営状況の変化（天災など）によって達成できない場合もあるため、目標数値に捕らわれず目の前の支援に注力していただきたい。

【山田委員（中小企業診断士）】

D Xに関しては来年度以降も重要な話題であるため積極的な取組をお願いしたい。

ギフトショーへの出展に関して、商品紹介パネル用の商品撮影やタペストリーに関しては弘前工業研究所を活用できるため、業者に頼む経費を考えれば安価だと思うので来年度以降検討してほしい。

【栗村委員（中小企業診断士）】

持続化補助金を活用したい事業者のニーズは多いためセミナー開催を多くしてほしい。

以上